

# 電車どおり



職員手作りの表紙  
認知症マフ



ホームページ  
はこちら



## もくじ

- 1. 認知症マフをご存知ですか? ... 2p
- 2. 入院セット リニューアル ... 3p
- 3. ローソン リニューアル ... 3p
- 4. 医療被ばく について ... 4p

今回認知症患者さん向けの「認知症マフ」を取り上げましたが、たとえ認知症により記憶力が低下していても、今までの生活習慣などは潜在的に覚えているようです。

その人らしく生活していた頃に使用していたモノや嗜好品や、好みに合わせたモノは、認知症患者さんにとって不安感を軽減させる重要なアイテムになるそうです。



## 基本方針

- 道南の基幹病院として急性期医療に取り組みます。
- 断らない救急医療を実践し、住民の信頼と期待に応えます。
- 総合周産期母子医療センター及び北海道がん診療連携指定病院として高度で専門的な医療を提供します。
- 「患者さまの権利」を尊重し、安心して安全なチーム医療を実践します。
- 医療環境の発展と充実のため、地域の行政・医療機関との連携を強化します。
- ワークライフバランスに配慮した職場環境づくりと人材育成に力を入れます。

### 【患者さまの権利】

- ・安全で良質の医療を平等に受ける権利
- ・自らが受けている医療について、十分な説明を受け、知る権利
- ・セカンドオピニオンを求める権利
- ・自らが受ける医療に参加し自己決定する権利
- ・個人のプライバシーが守られる権利
- ・個人として常にその人格、価値観が尊重される権利

### 【患者さまの義務】

- ・自らの健康状態を医療者にできるだけ正確に知らせる義務
- ・医療者の説明や自らの疾病状態の理解に務める義務
- ・病院の規則や医療者の指示に従い、医療に参加・協力する義務
- ・他の患者さまの治療や医療者の業務に支障をきたさない義務
- ・受けた診療に対し、医療費を支払う義務



# 1. 認知症マフをご存知ですか？

## ♥ 認知症マフとは？

マフとはもともと15世紀ころに誕生した毛皮や織物で作った、両端が開いた筒状の防寒具です。手袋と比べて筒の中で自由に手を動かせるのが特徴であり、17世紀以降はアクセサリーとして流行したそうです。

認知症マフは筒状のカラフルにデザインされたニット製品で筒の中や外にアクセサリーや毛玉などをあしらっています。

英国ではtwiddle muff（トゥイドル マフ）と呼ばれ、認知症の人の落ち着かない手を穏やかに温かく保ち、触覚や視覚という感覚を用いたケアに活用されています。英国ではオックスフォード大学病院の高齢者ケアや一部地域の救急車の搬送時ケアにもマフは活躍しています。

## ♥ 認知症と入院生活

認知症は記憶力や判断力が低下することは皆さんご存知だと思います。その為に認知症患者さんご自身の変化に大変な不安に襲われてしまい、近くにある物などを握ったり触ったりして不安を軽減しようとしています。

しかし病院の場合、近くにある物が点滴など患者さんが触れることが好ましくないものが多く、また患者さんに危険が及ぶものもあるため、患者さんの安全を最優先に考え、最終手段として、身体を抑制せざるを得ない場合もあります。



職員が作成した認知症マフ



実際に着用している様子

## ♥ 認知症マフの期待される効果

認知症患者さんへ認知症マフを利用することで、患者さんが落ち着くと共に、抑制することなく入院生活を送ることができます。（但し、全ての患者さんに効果が期待できるわけではありません）

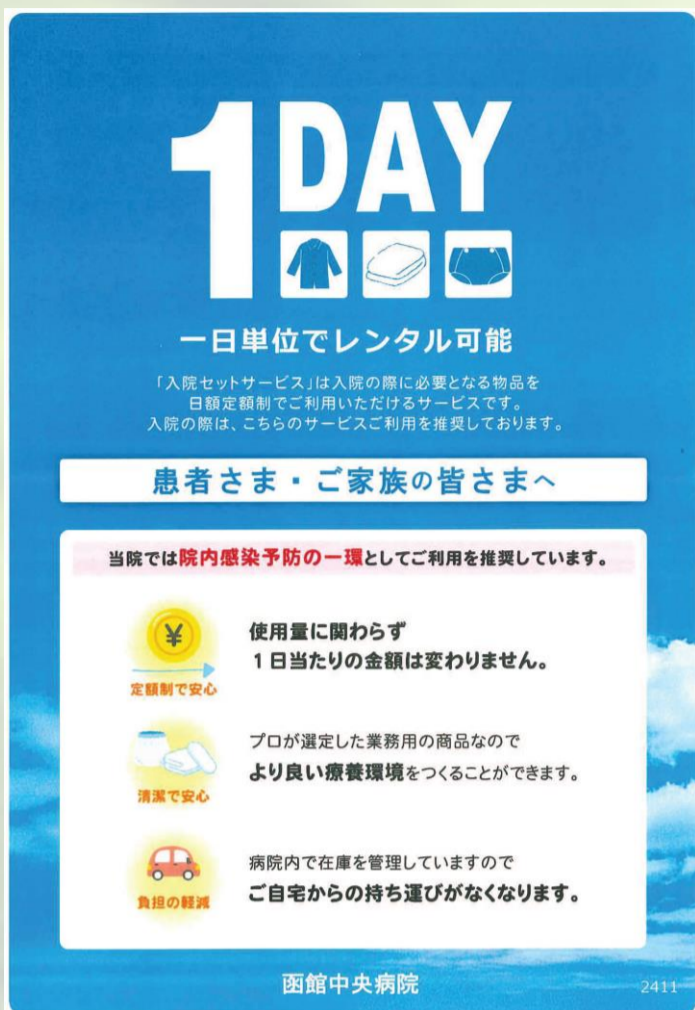
当院では身体抑制最少化を目指し、認知症看護認定看護師とリンクナースが中心となって認知症マフを導入しました。

当院は急性期医療を担う病院ではありますが、地域の高齢化と共に入院患者さんも高齢の方が多く、認知症患者さんの入院も多くなってきております。

患者さんにできるだけ安全安心な入院生活を送っていただく為にも、認知症マフのような負担のないケアグッズ導入を今後も行っていきたいと思います。



## 2. 入院セット リニューアル



**1DAY**  
一日単位でレンタル可能

「入院セットサービス」は入院の際に必要な物品を日額定額制でご利用いただけるサービスです。入院の際は、こちらのサービスご利用を推奨しております。

患者さま・ご家族の皆さまへ

当院では院内感染予防の一環としてご利用を推奨しています。

- 使用量に関わらず1日当たりの金額は変わりません。
- プロが選定した業務用の商品なのでより良い療養環境をつくることができます。
- 病院内で在庫を管理していますのでご自宅からの持ち運びがなくなります。

函館中央病院 2411

この度入院セットがリニューアルされました。リニューアルに伴い、病衣のデザインが変わり、より「柔らかく、伸縮性がある」ようになりました。

また、オプションでリハビリシューズなども追加可能となり、実物を試してサイズの合うものを選ぶこともできます。

当院は妊婦さんやお子さんの入院も多いですが、マタニティウェアや小児用病衣も選べるようになりました。

その他、肌着や靴下もセットに組み込まれるようになり、利用された方からは非常に好評です。

入院生活を送る上で、ご自宅から必要なものを持ってくる、事前に準備をすることは意外と大変です。このようなサービスを導入することで患者さんやご家族の方の入院生活に対する負担・不安を解消する一助になればと考えております。

入院セットに関することは1階にある「入院セットレンタルサービス」の受付ブースのサポートスタッフへお尋ねください。

## 3. ローソン リニューアル

この度ローソンがリニューアルいたしました。

当院のローソンは2010年1月に道南初の病院内コンビニとしてオープンして以来、患者さんやご来院いただいた方はもちろん、当院職員にとっても欠かせない、「ほっとステーション」です。

リニューアルの為、2月9日より商品を限定した仮設店舗での営業を続けておりましたが、2月28日にリニューアルオープンとなりました。

これまでと比較して商品が充実（無印良品もラインナップに加わりました）しているそうですので、是非ご利用ください。

リニューアル後



リニューアル前



仮設店舗での営業





## 4. 医療被ばくについて



診療放射線技師(主任):松宮 祐治

被ばくと聞くと良い印象をもつ方はいらっしゃらないのではないのでしょうか。しかし、放射線は非常に身近な存在で、呼吸や食物を摂取するなど普段の行動、つまり日常生活を過ごすだけで毎日僅かながら被ばくしています。これは自然放射線による影響で、空気や大地、さらには宇宙からによるものであり、絶対に被ばくから避けて生きていくことはできません。

では医療被ばくはどうでしょうか。これは医療機関で放射線を用いた検査や治療を行った場合のみにする被ばくです。検査や治療、診断に必要な医療分野ですが、不安に思われることが多い分野ではないのでしょうか。まず、医療現場において用いられる放射線は被ばくによる影響よりも、もたらされる便益が上回ると考えられる場合と、可能な限り被ばく量を低くすること、個人の線量限度を超えないこと、以上の3つが守られており、これを医療被ばくの3原則と呼んでおります。

診療放射線技師は医療現場において医師からの指示の下に検査や治療に携わるだけではありません。医療被ばくの3原則に基づき、医療被ばくを抑え、見やすい画像を提供することも診療放射線技師の仕事です。

以前、日本での医療被ばくは世界レベルでトップクラスだという記事を拝見したことがあります。正直に申し上げますと本当です。しかしこれは日本の医療における放射線分野が世界から見て遅れているからという訳ではなく、日本のCT装置普及台数がトップクラスだからというのが理由です。日本は身近なところにCT装置があり、そして検査を受けられるトップクラスの医療環境が整っていると言い換えることができるのではないのでしょうか。

現在では少ない被ばく量でも画質を良くする技術や装置などの研究が急速に進んでおります。また、日本では2015年より医療被ばくを最小限に抑え、最適化するという診断参考レベルが設けられました。

放射線検査に関して不安なことや気になること等がございましたら、お近くの診療放射線技師にお尋ねください。

※今月号の背景：グリーン、草地（ロイヤリティフリー pixa bayより）